

令和2年4月20日

全日制課程生徒及び保護者の皆様へ

都立瑞穂農芸高等学校長

吉 野 剛 文

全員で乗り越えよう

新入生、在校生の皆さんは、どのように1日を過ごしていますか。学校は、コロナウイルス感染拡大防止の措置により、令和2年3月2日（月）から臨時休業となりました。そして、新年度になり希望に満ちた気持ちをもった現在も、残念ながらその状態が継続しています。

皆さんは、都立学校が5月6日（水）まで臨時休業になることを知ったとき、どのように感じましたか。始業式や入学式はどうなるのか、勉強や学校行事はどうなるのかなど、不安や心配になったと思います。進級した在校生たちは始業式の登校のみであり、その思いが日に日に募っていると思います。特に新入生の皆さんは、異例となった高校生活のスタートになりました。まずは、学校再開後の授業に向けて、郵送された課題等への取り組みをお願いします。

毎日、テレビやインターネットのニュースなどからは、コロナウイルス感染拡大について厳しい情報が入ってきます。現在、緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出はせず自宅で過ごすよう要請されています。私達一人一人の行動こそが感染リスクを軽減し、家族や友達をはじめ大切な人を守ることに繋がります。ピンチはチャンスと言うように、皆さんには、この臨時休業期間を無駄なく有意義に過ごすことができれば、自分自身の成長につながります。無計画に過ごすのではなく、限られた場所や時間の中で計画を立て、生活リズムを崩さないようにしてください。しばらく続く臨時休業期間中は、何か自分にできることを発見して取り組んで欲しいと思います。

学校再開までには、もうしばらく時間がかかります。先生方は、この臨時休業中も毎日、動植物の管理作業などを少ない人数で行っています。先生方は、皆さんが毎日管理していた動植物に会えず心配していると考え、元気に成長している動植物の様子をホームページに掲載しています。

生徒の皆さん、安心してください。毎日、頑張っている先生方が温かく皆さんを迎えます。学校再開に向け、自分自身の「体と心」を健康に保ち、規則正しいリズムのある生活を送ってください。この様な困難な状況下でも前向きに取り組むことがとても重要です。必ず明るい未来がやってきます。その時まで、やるべきことに取り組み、周りの人と協力し合ってください。お願いします。

最後に、瑞穂農芸高等学校の全教職員を代表して、1日でも早い学校再開の日が来ることを願っています。